

令和8年度 第2回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：082.地域空間論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

I～Ⅲに解答せよ。

I. 次の(1)～(6)のうちから、3つを選んで説明せよ。ただし、解答1つあたり3行以上、記述すること。

【60点】

- | | | |
|---------|-------------|----------|
| (1) 局地風 | (2) 高山都市 | (3) 三角測量 |
| (4) 商店街 | (5) 人文主義地理学 | (6) 帯水層 |

II. 次のA～Eのうちから、1つを選んで解答せよ。

【120点】

- A. グローバル化によって地理は消滅するという見解について、肯定と否定の両面から、論述せよ。
- B. 鉱山開発に伴う集落の立地と形成について、論述せよ。
- C. 情報化が都市システムや都市空間にもたらした影響について、論述せよ。
- D. 地名をめぐる現代の国際的議論について、論述せよ。
- E. 都市の災害にはどのような特徴があるか、その対策に言及しながら、論述せよ。

令和 8 年度 第 2 回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：082.地域空間論

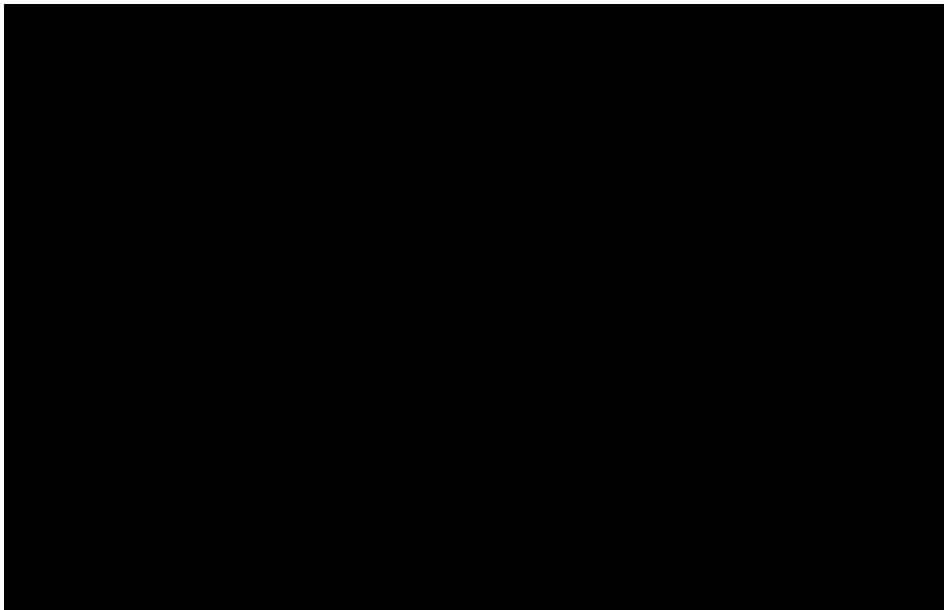
(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字の I、II……）ごとに別の解答用紙を用いること。

ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

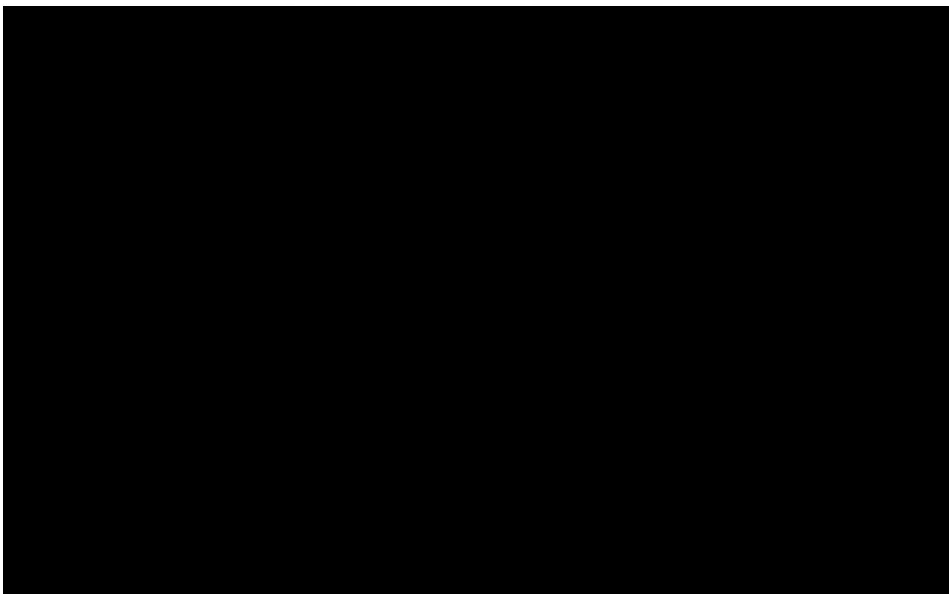
III. 以下の P~R のうちから、2つを選んで解答せよ。

【120 点】

P. 次の新旧 2 枚の 2 万 5 千分の 1 地形図（原寸大）は、敦賀湾東岸のものである。これらの地図から読み取ることのできる自然環境と人文現象について、論述せよ。



昭和 7 年修正測図



平成 15 年更新

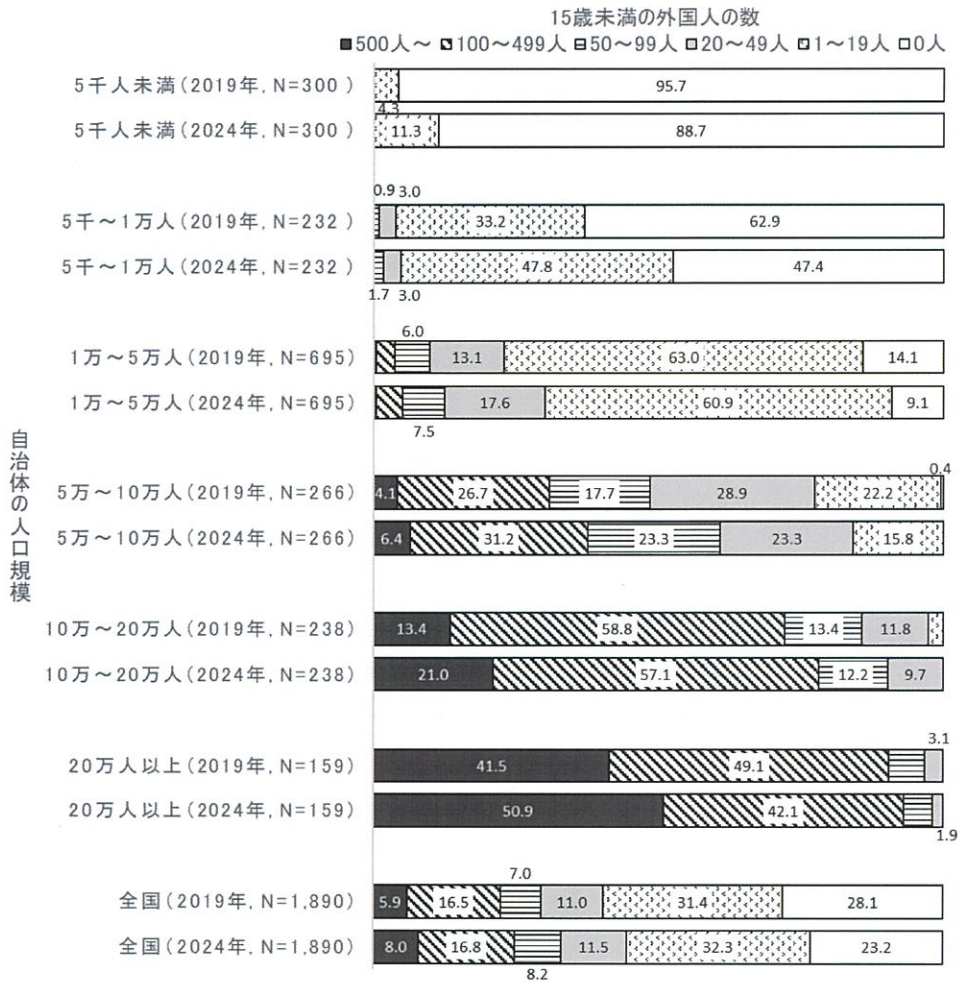
令和 8 年度 第 2 回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：082.地域空間論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問 (ローマ数字の I、II……) ごとに別の解答用紙を用いること。
 ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

Q. 次の図は、2019 年と 2024 年の日本における 15 歳未満の外国人の数からみた自治体の割合について、自治体の人口規模別と全国値を示したものである。たとえば、2019 年における人口 5 千人未満の自治体 (N=自治体数 300) のうち、15 歳未満の外国人が 0 人の自治体が占める割合は 95.7%である。この図から読み取れる日本の外国人の居住傾向と社会課題について、2019 年から 2024 年の変化に留意しながら、論述せよ。



資料：国立社会保障・人口問題研究所による調査結果をもとに作成。

令和 8 年度 第 2 回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：082.地域空間論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字の I、II……）ごとに別の解答用紙を用いること。

ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

- R. 次の英文を読んで、文化遺産（Cultural Heritage）は人文地理学においてどのように研究されうるか、具体的な遺産を事例として、論述せよ。

T. C. Chang (2017) Cultural Heritage.

In: *The International Encyclopedia of Geography*, Wiley Online Library

【参考】 unravel 解きほぐす